

ディスコグラフィー収載

ディスコグラフィー【2022No.187】(HP 収載)

分類：アナログ盤

作曲家：フランコ・コレッリ他

曲：Concerto grosso No.8 他

演奏：カール・ミュンヒンガー指揮シュトゥットガルト室内管弦楽団

発売：DECCA

No.：SXL2265

概要：



[大阪ハイエンドオーディオショウ 2022](#) で求めてきた盤です。

収録曲は以下のとおりです。

フランコ・コレッリ：Concerto grosso No.8 (クリスマスコンチェルト)

ヨハン・パッヘルベル：Kanon

Carlo Ricciotti：Concertino No.2

クリストフ・ヴィリバルト・グルック：シャコンヌ

コレッリの Concerto grosso No.8、別名クリスマスコンチェルトは、お馴染みの曲で、コレッリらしい美しいメロディの曲です。

パッヘルベルの Kanon も定番の曲です。最近の演奏会での演奏に比べると、スローテンポでゆったりと流れるような演奏です。

Ricciotti の Concertino No.2 は、初めて聴くものですが、イタリアのバロック作曲家のようで、コレッリやヴィヴァルディを思わせるような作風です。

グルックのシャコンヌは、舞曲風の楽しい雰囲気曲です。

ミュンヒンガー指揮のシュトゥットガルト室内管弦楽団は、ずっと以前に演奏を聴いたことがあります、美しい音であったことを覚えており、この盤でもミュンヒンガーが存分にシュトゥットガルト室内管弦楽団を歌わせています。

以上